

平成26年度 事務事業評価調書（平成25年度実績分）

事務事業名	旭町福井線（第3工区）街路整備事業				
所管部局	都市建設部	部局長名	山本 頼男	予算事業名	◎旭町福井線（第3工区）街路整備事業費
所管部署	道路整備課	所属長名	池田 誠起	予算事業科目（平成26年度）	010805030184

1 事業の位置付け

2011 高知市総合計画・実施計画施策体系での位置付け	
施策の大綱	05 まちの環
政策	27 便利で快適な交通網の整備
施策	81 都市交通の円滑化

2 事業の根拠・性格

法律・政令・省令	都市計画法 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律	法定受託事務	施策取組方針	交通需要に基づいた道路網の整備、公共交通の利用促進に向けた利用者の意識改革を図るなど、ハード・ソフト両面から道路交通の円滑化を進めます。 また、密集市街地の防災や過疎地域の維持・発展に寄与する道路、地域内の骨格道路など、重要性・緊急性の高い路線について重点的な整備を推進するとともに、既存道路施設の安全確保のための効率的な維持管理に努めます。
県条例・規則・要綱等				
市条例・規則・要綱等				
その他（計画、覚書等）	都市計画マスタープラン			

3 事業の目的・内容等

対象	誰(何)を対象に	市民及び一般交通に用に供するもの	
意図	どのような状態にしていくのか	交通渋滞の解消、交通の円滑化、密集市街地の防災性向上	
手段	事業実施体制等	用地補償係、道路整備係の連携により直接買収及び工事施工	
		事業開始年度 平成17年度 事業終了年度 平成29年度	
活動内容	どのような事業活動を行うのか	本路線は、市街化が進む市北部の福井地区と国道33号線を結ぶ幹線道路で、街区並びに都市計画道路が未整備で年々交通量も増加傾向にあることから、慢性的な交通渋滞解消及び交通の円滑化と密集市街地における防災性の向上を図る。	
成果指標	事業目的の成果を測る指標		指標設定の考え方
	A	事業費執行率（％）	全体事業に対する執行率
	B		
	C		

4 事業の実績等

			23年度	24年度	25年度	26年度（計画）	備考欄	
成果指標	A	事業費執行率（％）	目標	42.3	53.7	63.9	68.5	
			実績	41.7	47.8	62.7		
	B		目標					
			実績					
	C		目標					
			実績					
投入コスト	① 事業費	決算額（千円）	130,300	152,000	370,165	221,903	用地1 補償1 工事1 係長0.25+0.25 H25で補償完了	
		財源内訳	国費（千円）	68,592	81,584	198,772		119,193
			県費（千円）					
			市債（千円）	59,700	66,800	162,798		87,500
			その他（千円）	176	2,876	1,984		10,510
			一般財源（千円）	1,832	740	6,611		4,700
	翌年度への繰越額（千円）	176,000	84,165	21,903				
	② 概算人件費等	人件費等（千円）	25,200	25,900	25,550	18,000		
		正規職員（千円）	25,200	25,900	25,550	18,000		
		その他（千円）						
		人役数（人）	3.50	3.50	3.50	2.50		
		正規職員（人）	3.50	3.50	3.50	2.50		
		その他（人）						
総コスト＝①＋②（千円）	155,500	177,900	395,715	239,903				
市民1人当たりコスト（円）	460	526	1,175		総コスト/年度末人口			
年度末住民基本台帳人数（人）	337,875	338,397	336,845					

5 成果指標で表せない事業成果・市民満足度・その他課題点等

街路事業においては、近年、要望額に対して約半分程度の交付額となっており、事業費確保が必要である。
 しかしながら、本事業は都市計画街路の整備事業であり、平成17年度に事業着手し、平成29年度に完成する予定であるが、最終年度に事業が完了して初めて事業効果が発揮できるものであるため、早期の完了を目指して事業を推進している。

6 所属長評価

評価項目		評価基準	1次	平均点数	評価内容の説明
事業実施の必要性	① 〔施策体系等での位置付け〕 事業の実施が市の総合計画・実施計画・市長マニフェスト等の目標達成に結びつくか、又は、事業の根拠等に結びつくか	A (5) 結びつく	A	5.0	都市計画マスタープランに沿った事業であり、交通渋滞の緩和、災害時の緊急輸送ルートとして市民要望は高い。
		B (3) 一部結びつく			
		C (1) あまり結びつかない			
		D (0) 結びつかない			
	② 〔市民ニーズの傾向〕 事業の実施に対する市民のニーズ（需要量）の傾向はどうか	A (5) 非常に多い、急増している	A		
		B (3) 横ばいである			
		C (1) 少ない、減少している			
		D (0) ほとんどない			
事業内容の有効性	③ 〔成果の達成状況〕 事業の成果指標の達成状況は順調か	A (5) 十分に達成している	B	4.0	計画に基づき平成29年度完成の見込みであり、順調に移転補償・工事とも進捗している。
		B (3) 概ね達成している			
		C (1) あまり順調ではない			
		D (0) 十分な成果を望めない			
	④ 〔事業の手法・活動内容〕 事業成果の向上のための手法・活動内容の妥当性	A (5) 妥当である	A		
		B (3) 概ね妥当である			
		C (1) 検討の余地がある			
		D (0) 見直しが必要である			
事業実施の効率性	⑤ 〔アウトソーシングの可能性〕 事業の実施にかかる民間活力利用の可能性	A (5) 実施済・できない	A	5.0	街路事業として取り組みしており、他へのアウトソーシングには適さない事業である。
		B (3) 行政主体が望ましい			
		C (1) 検討の余地はある			
		D (0) 十分可能である			
	⑥ 〔事業統合・連携・コスト削減〕 類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性	A (5) 現状が望ましい・できない	A		
		B (3) 概ね効率的にできている			
		C (1) 検討の余地がある			
		D (0) 十分可能である			
事業実施の公平性	⑦ 〔受益者の偏り〕 事業の受益者が特定の個人(団体)等に偏りがなく公平性が保たれているか	A (5) 極めて公平性が高い	A	5.0	高知市民、一般の交通に供する道路であり市民全体が受益者となる。 国庫補助率55%、起債充当率95%の財源であり適正な経費負担となっている。
		B (3) 概ね保たれている			
		C (1) 偏っている			
		D (0) 公平性を欠いている			
	⑧ 〔受益者負担の適正化〕 事業実施の財源として、受益者負担割合（一般財源負担割合）は妥当か。補助金等交付事業の場合、対象経費は妥当か。	A (5) 適正な負担割合である	A		
		B (3) 概ね適正な負担割合である			
		C (1) 検討の余地がある			
		D (0) 検討すべきである			
総合点	19.0	総合評価	○ A 事業継続 (総合点が16点以上で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合)		
			B 改善を検討し、事業継続 (総合点が12点以上16点未満で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合)		
			C 事業縮小・再構築の検討 (総合点が4点以上12点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで2点以下がある場合)		
			D 事業廃止・凍結の検討 (総合点が4点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで1点以下がある場合)		

7 部局長評価

総合評価	評価理由・今後の方向性等
○ A 事業継続	所属長評価のとおり
B 改善を検討し、事業継続	
C 事業縮小・再構築の検討	
D 事業廃止・凍結の検討	

8 特記事項